

岩手県九戸郡種市町平内方言のアスペクト

大西 拓一郎

I. はじめに

- (1)調査対象地：岩手県九戸郡種市町平内
- (2)調査年月日：1994年3月3日～3月4日
- (3)話者：堀米繁男 大正12年(1923年)2月20日生まれ(71歳) 元郵便局員
- (4)調査者・調査場所：大西拓一郎，話者自宅
- (5)調査方法：翻訳式質問法
- (6)表記方法：音韻表記を行った。アクセントの表記は省略した。また，原則として文節の切れ目には空白を入れた。

II. 調査結果

- 1.(昔は)行ったものだね eQtaQkeRnaR
- 2.(あのころは)おもしろかったなあ omosurogaQtaQkeRnaR
- 3.(もうちょっとで)落ちるところだった ozuQtogodaQta
- 4.(今にも)落ちそうだよ ozuQtogoda
- 5.(財布を)落として odose
- 6.困っている komaQdera
- 7.(一本のロウソクが今にも)消えそうだよ keRsoRda
- 8.(完全に)消えようとする(瞬間) keRrukeRru
- 9.(完全に)消えた(瞬間) keRda
- 10.(すでに)消えていたよ keRderaQta
- 11.(何本ものロウソクが順に)消えはじめた keRhazumeda
- 12.(何本ものロウソクが次々)消えていくなあ keRdeegu
- 14.(何本ものロウソクが全部)消えているよ keRdesumaQta
- 15.(何本ものロウソクの火を次々)消しているよ kесеegu
- 17.(今にも桜が)散りそうだよ cuQtogoda
- 18.(ちらほらと)散りはじめた curihazumeda
- 19.(今現に)散っている cuQteru/cuQtera
- 21.(地面一面に)散っている cuQteru/cuQtera
- 22.今にも降りそうだよ emanemo huQjoRta
- 23.(あの時は今にも雨が)降りそうだったなあ huQjoRtaQta
- 24.(あの時はもう実際に雨が)降っていたよ huQteraQta
- 26.(来年の今ごろは家を)建てている(最中)から tadedeQheRde
- 28.(あの家はよく)磨いてある migaRderu/migaRdera

- 29.(隣の犬が)鳴いている naRderu/naRdera
 30.(隣の子が)泣いている naRderu/naRdera
 31.(子供たちが)喧嘩している kenkaR seru
 33.(〇〇さん)いるか edaga
 34.(ああ)いるよ eru/edaeda/erueru
 35.(そういう人も)いるよ erujo/edajo
 36.(あなたは今何を)していた(か) sera
 37.(わたしは今金魚を)見ていた midera
 38.(金魚が今にも)死にそうだ sunisoRda/sunujoRta
 39.(やっぱり金魚は)死んでいたよ sunderaQta
 40.読み始めていた jomihazumeda
 41.読み始めたところへ jomihazumeda dogosa
 42.着くと同時に cuRde zugido/cugudo
 43.着くと同時に cuRdara zugido
 44.鳴り続けている naricuzugederu
 45.(先生は今何を)しているか suteeansuka
 46.好きだ sugida
 47.見られているもの miraredenno
 48.(今, 運動会が)ある jaQteru
 49.(降らなくて)よかったよ egaQta
 50.(先生がこっちへ)来つつある odeasuta
 51.(犬がこっちへ)来つつある kita
 52.似ている niRderu
 53.(一週間も前から遊びに)来ている kiteru
 54.(昔から)苦労していない kuroR senaR
 55.(今はあまり)苦労しないでいる kuroR senaR
 56.タバコは売っているが, 服は売っていない tabagoa uQteQtomo huguRba uQtenaR
 57.(昔からタバコを)売っている uQteru
 58.(今, 大売り出しで衣料品を)売っている uQteru
 59.(もう三回)来ている kiteru/kitera
 60.(いつも)来ている kiteru
 61.(昔はいつも)来ていた kitera/kiteraQta
 62.(前に一度)行っている eQtera
 63.(先に)行っておいてほしい eQtero/eQterekero
 64.待っていないさい maQtesaR

- 65.(外に)待たせてあるよ madasedoRda
 66.食べておいておくれ kuQterekero
 67.(昔と)違っている cugaQteru
 68.(昔は今のと)違っていた cugaQtera
 69.(毎日梅干しを)食べている kuQteru
 70.(毎朝)している seru
 71.気を付けていて(～した) kiR cugedere
 72.行ったまま～ eQtamaba
 73.～しながら sunagara
 74.行く途中で egutozjuRde
 75.行く途中で egutozjuRde
 76.読むのを途中で止めて jomunoR tozjuRde jamede
 77.読んだばかりだ jondabaRta
 78.無くなっている nagunaQtera
 79.無くなるぞ nagunaQcjo
 80.掛けておいた帽子 kagedoRda boRsu
 81.並んだ本 naranderu hon
 82.並べた本 narabederu hon
 83.読んでおこうか jondoRgubeR
 84.やってあるか jaQteruga
 85.壊している kaRserujo
 86.壊れている kaRrederujo
 87.壊されている kaRsarederujo
 88.のけてある jogedera
 89.書き終わった kagiowaQta
 90.書いてしまいなさい kaRdesumaRsaR
 91.書いてしまう kaRdesumaRru
 92.書いてみた kaRdemida
 93.(孫は今)入院している njuRen seru
 94.(弟も今)入院しているそうだ njuRen seQsoRda
 95.(きっと)よくなるよ egunarujo
 96.(だんだん)よくなるよ egunarujo
 97.(歳を)とると toQtekureba
 98.直らなくなるよ naoranagunaQtegu/naoranagunaQtekuru
 99.(1)(犬が)怪我したので kejaR saheRde

- (2)(こどもが)怪我したので kegaR saheRde
(3)(お父さんが)怪我したので kegaR saheRde
(4)(雨が)降ってきたので huQtekitaherde

III. 総括(まとめ)

1. 当該方言の音韻的な特徴について

東北方言に一般に見られる語中のカ・タ行の有声化, イ/エ, シ/スの区別が無い以外にやや特殊な次のような特徴が認められる。

シテにseが対応する。ゆえに例えば5.のオトシテのシテがseで現れている。

関連してシタにsaが対応する。ゆえに例えば99.のシタノデのシタがsaで現れている。

アイの連母音がaRで現れる(例92.92.書いてみたkaRdemida)。東北方言ではこれは少ない。

語中のザ・ダ・バ行音は鼻音を伴わない。ゆえにz/^Nz・d/^Nd・b/^Nbの対立はない。

2. アスペクト表現の特徴について

テイルに対応する表現は, -teru(-deru)もしくは-tera(-dera)が用いられる。両者の文法的な意味の異なりは明確ではないが, 活用は異なり, -teraはさらに過去に用いられる際には, 10.のように-teraQtaとなる。

3. 活用について

活用は多少複雑でここでは説明し切れない。別途稿を改めて, 記述する予定があるので, 参照のこと。

(おおにし たくいちろう 国立国語研究所)